



森のなかま

2016年3月号

NO. 95 (継続240号)

事務局が移転しました (最後に詳細)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

移転先 〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax.046-297-0302

山の神祭 開かれる

平成28年1月17日(日)

参拝者 94名

昨年末の祠(ほくら)の大掃除



山の神祭式次第

- 一、開会の辞
- 二、一同拝礼
- 三、献饌の儀
- 四、修祓の儀
- 五、祝詞奏上
- 六、玉串奉奠
- 七、直会の儀 (神酒拝飲)
- 八、一同拝礼
- 九、閉会の辞

今年の祠の準備完了



山の神祭祝詞 (のりと)

此の清き山裾に齊き奉る、
 おおやまずみのおかみ おおまえ かしこ まもろ
 大山祇大神の大前に恐み恐み申さく
 こんじつ よ おんやま みまつ つか まつ
 今日(こんにち)の佳き日に御山の御祭り仕え奉るとして
 にぎて まつ うづ みけ みき
 日和幣ささげ奉り、宇豆の御饌、神酒、
 種々の物をささげ奉る状を相詣い給いて、
 NPO法人かながわ森林インストラクターの面々が
 森林ボランティアや、青少年の方々と共に、
 日に異に山に入り、森林や林業を語り、
 木々の植栽、下刈り、間伐、枝打ちなど
 山作りに勤む状を、うむ嘉しめ給いて、
 高き尊き思頼を、かがうらしめ給い、
 はや きこしめ まがごと とが たた あらじもの
 速、納受して禍事、咎め、祟りは不在物と、
 手のまがい、足のまがい有らしめ給はず、
 いえうち うちやす
 家内安く浦安の里の、
 夜の守り、日の守りを守り給い
 たま かしこ かじこ まもろ
 幸い給えと恐み恐み申し候
 平成貳拾八年壹月拾七日

○ 寒かった12月13日(昨年末)、事務局・森林文化部会の有志の皆さんで大掃除を行いました。祠(ほくら)の内部や外側を雑巾掛けや箒掃き、「山神権現社」の銘がある御神体(板)を清めました。

○ 山の神祭当日は事務局・森林文化部会の皆さんは朝早くから集合し、祭事準備を行いました。御供え物の設置、直会で使う盃の整理、鯛や目刺しを焼く炭火の準備などです。準備が終わった頃に、参列する会員の皆さんが到着しました。

○ 神主は昨年までの武者氏7期から高橋修氏9期に交代となり式次第に沿って、執り行い、この一年の活動の安全を皆様と山の神様に祈願を致しました。(司会は真貝氏11期)

(写真式次第、祝詞(のりと)等を参照)

○ 祭事の直会(なおらい)は神聖な礼講として執り行いましたが、祭事終了後の直会は無礼講です。奉納された神酒や、縁起ものの鯛や目刺しを頂き、会員間の親交を深めました。お酒も程よくまわった頃に、午後からの14期生歓迎の会員の集いの松田町「わたや」に向かいました。

(次ページに続く)

1.開会の辞



2.一同拝礼



3.献饌(けんせん)の儀



4.修祓(しゅうばつ)の儀



5.祝詞(のりと)奏上

6.玉串奉奠(たまぐしほうてん)
(久保理事長)

6.玉串奉奠 各期代表 (写真は抜粋 1期、7期、14期(新期生))



祭事終了後の無礼講

7.直会(なおらい)の儀



8.一同拝礼



9.閉会の辞



(取材 広報部 松本)

新会員32名歓迎の会員の集い 兼 新年会 盛況に開催される 1月17日(日)

< 事務局長 福島 正治 11期 >

山の神祭式次第に沿い祭事が無事終了後、松田町「わたや」で総勢 81名が揃い盛大に会員の集いと14期生の歓迎会が行われました。休憩棟前で奉納されたお神酒の下地が入った中、久保理事長のご挨拶から始まり、司会者の流暢な流れで多彩な顔ぶれの14期生の自己紹介も和やかな雰囲気の中で行われました。最後に森林文化部武者部会長の締めで会員の集いが終了した。今後の会の発展と14期生のご活躍を期待いたします。

司会者の進行でスタート



久保理事長の御挨拶



先輩期の皆さん



14期生の皆さん

先輩からの祝辞



← 3期 高橋さん

7期 武者さん →



14期生(新期生)「森林インストラクターとして」



< 木村 勇 14期 >

今年から森林インストラクターとしてご一緒させて頂きます、14期の木村と申します。
よろしくお願いします。私がこの森林インストラクターに応募するまでの事を少し書かせて頂きます。

58歳の時、人間ドッグで糖尿病が発覚、いきなり生まれて初の入院になり、検査、検査の入院生活で得たものは、自分の人生の振り返りと医者に言われた「山登りでもやってお腹のお肉を取って下さい、長生きしたければ」の言葉でした。そこで秦野に部屋を借りて週3回大倉尾根で塔ノ岳を登る事にしました。何回か登っているうちに大倉尾根の登山道整備をしているボランティア団体を見つけ面白そうなので入れてもらいました。そこは「みろく山の会」という山登りの会の自然保護部でヘリコプターで丸太と杭を運び木の階段や水切りを設置する作業です。



14期生の皆さん 山の神祭時（休憩棟横にて）

この作業をしているうちに丹沢の山や森に愛着がわき始め、この森を守る事の楽しさを感じられる様になってきました。これから先も山や森林で出来る事が何かないか探しているところへ神奈川森林インストラクターの募集を見てこれだと思い応募しました。2年間の研修が終わり今、感じている事は、これから何年できるかわからないですが、森林インストラクターを続けていく決意です。その為にも目標として確実な技術を磨き、できるだけ多くの知識をつけたいと思います。

そして、最初から最後まで忘れずに持ち続けていくべき目的は「森林と人をつなぐ」という神奈川森林インストラクターの会の理念だと思っています。一般参加のボランティアの方・学生・子ども・企業の方々と森林をつなぐ『かすがいい』になり、参加者に森林の中で、森の必要性や素晴らしさを教えるというより「気づいてもらう」為のお手伝いができればと思います。最後に私事でありますが35年間、夫婦でパラグライダーをやって来て日本の四季の森の中を飛びその山や森の素晴らしさに感謝しています、その為にもインストラクターとして森林に関わり守っていきたくと思っています。



14期生対象に各部会の活動説明会が行われました。

・日時 平成28年2月11日（木・祭）14:00～16:00

・場所 あつぎ市民交流プラザ アミューあつぎ610

参加：14期生 31名

各部長：森林、自然観察、森林文化、普及啓発、癒やし
やどりき事業、日本触媒の森事業、ネットワーク活動事業
広報部、事務局、以上 説明部署



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目／NPO法人で初めて委嘱されています。

自然観察部会 平成27年度 『冬の探鳥会』

相模原沈殿池(相模原公園となり)と周辺 平成28年1月3日(日)・晴れ、1月9日(土)・晴れ

講師: 高橋恒通 氏 3期、武本弘次 氏 7期

< 自然観察部会 赤崎さほり 12期 >

年も明けてすぐの1月3日(日)と9日(土)に相模原沈殿池(相模原公園となり)にて探鳥会を行いました。高橋講師から冬鳥の代表、カモ類を中心に、公園内の小鳥など各々の見分け方や生態をその場で丁寧にレクチャーしていただき、また、昼食後には渡り鳥について武本講師を囲んで闊達な意見交換をしながら講義をいたしました。探鳥会は開催の度、参加者の皆様から「野鳥の知識が深められた」と好意的な感想をたくさんいただいております。特に冬は野鳥観察の入門編ともいえるカモやサギ、カワウなどの水辺の鳥が多く、落葉樹の森では鳥を見つけやすくなる季節です。自然観察会でも、野鳥の説明ができるようになると、話を膨らませて進めることができ、いっそうのレベルアップにつながります。自然観察部会では探鳥会を年2回開催しています。次回は初夏の予定です。大勢の方のご参加をお待ちしております。



いきなり何かを見つけたました

カルガモやヒドリガモや
アオサギ等カワウの群れと
オシドリ達名前はオシドリ
でも、ほんとは浮気者ビーズの様な目の
キンクロハジロ♂

ナポレオンハットのヨシガモ



アヒルの原種のマガモ



コガモ ♂



ヒドリガモ

観察できた野鳥【オシドリ、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、オオバン、セグロカモメ、トビ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、ハジボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ(声のみ)、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、シメ、アオジ、カワラバト】

虫をつつく
コゲラマユミをついばむ
メジロ最近あまり見かけない
スズメ たち猛禽類の
ノスリオレンジ色が美しい
ジョウビタキ♂

参加者: 黒澤⑧、長尾⑬、江頭⑬、松石⑬、源島⑬、湯浅⑪、小野⑦、西岡⑭、小林(富)⑩、村井⑨、内野⑨、斉藤⑬、宇田川⑬、菊池①、澤村⑫、橋本⑩、松本⑪、松永⑪、赤崎⑫

(写真撮影: 源島⑬、松本⑪) (鳥の写真は遠隔と動きが早い為に画像不鮮明が多くありますが御了承ください)

活動短信

今回の掲載は平成27年11/26～12/19です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



朔風払葉 11/27～12/1 頃
さくふうはをはらう
北風が木の葉を吹き払う
第五十九候 小雪 次候

乃東生 12/22～12/26 頃
なつかれくさしょうず
夏枯草が芽を出す
第六十四候 冬至 初候

(以下 [日] 平成27年は省略しています)

◆ 横浜市立森の台小学校 体験学習自然観察

[日] 11月26日(木)9:00～12:30、曇りのち晴れ

[場] 愛川ふれあいの村

[参] 小学4年生209名 教師等17名

[イ] L谷川⑪、増子③、堀江④、宮本④、富樫⑥、
小野⑦、武者⑦、有坂⑧、小沢⑨、村井⑨、
松山⑩、永松⑫、真部⑬

昨日から降り続いた冷たい雨は開始直前によく上がり、予定通り屋外での活動を行うことができた。子供たちは事前準備として、自然観察で見られそうなものを考え、16マスのビンゴシートを作成してきた。インストラクターは、ビンゴにある動植物などを子供たちが探しやすいように援助し、見つかった時には観察や説明を行った。生徒数が多いため、前半後半それぞれ約8名のグループに分かれて1時間ずつの観察会となった。ビンゴには、木の葉や木の実、きのこやコケ、においや色、鳥の声やモグラ塚、タネの特徴など多くの要素が盛り込まれ、とてもよくできていた。ビンゴにはないものにも関心は広がり、時間はあっという間に過ぎたように感じた。森の役割について説明する時間が十分にとれなかったが、最後にインストラクターのリーダーからわかりやすいまとめの話があり、森の働きを考えていくことの大切さを確認して終了することができた。

(記 真部 幸枝 ⑬)

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。



<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

◆ 小田原市立足柄小学校 森林環境教育

[日] 11月26日(木)8:50～14:10、雨のち晴れ

[場] 小田原市いこいの森

[参] 小学3年生(1組28名 2組29名) 教師3名

[スタッフ] 小田原市環境政策課職員2名

小田原市森林組合 佐藤様 村山様

[イ] L白畑⑦、三浦⑧、内野⑨、杉崎⑩、渡辺敏⑫、
大原⑬、長尾⑬、古舘⑬

前日からの雨が降り続き当日の集合時間には未だ小雨が残っていたが、天気予報を信じて活動をスタートした。間伐体験をするフィールドのスペースと生徒を送迎するバスが1台という関係で、1組4班28人と2組4班29人にタイムラグを30分つけて、伐採・枝払い・コースター作りと森林散策の「森林環境教育」プログラムを行った。10時頃には晴れ渡った森林の中で、生徒たちは初めて持つ鋸でインストラクターの指示に従い、受け口・追い口を作りロープを引っ張って、25年位のヒノキを倒し歓声を上げていた。森林散策でも落ち葉の中からどんぐりやミズキのサンゴ(花の跡)を拾い上げ、沢ガニや小さなカマキリを見つけて眼を輝かせていた。幸いにして怪我人もなく帰りのバスから手を振って名残を惜しんでくれた。

最後に、小田原市森林組合職員から心温まるうどんを御馳走になり、小田原市で初めてという小学3年生の間伐体験の成功を共に喜び合った。

(記 古舘 信生 ⑬)

◆ 鶴岡八幡宮・槐の会 森林活動

[日] 11月29日(日)9:00～15:00

[場] やどりき水源林フィールド

[スタッフ] 古田宮司、久田部長、

軽部様、亀田様、山本様、本間様、中田様

[参] 槐の会54名

[イ] L草野⑧、相馬⑤、谷津⑦、若林⑦、高橋⑨、
宮下⑩、時田⑩、真貝⑪、福島⑪、山下⑪、
吉田⑪、源島⑬

お天気に恵まれ絶好の活動日和となった。インストラクター12名は渋沢駅を7:30に出発し8:00から打合せ・準備・安全確保を確認し、槐の会の皆様をお迎えした。(午前)開会式の後、各班に分かれて森林活動を行った。

① 針金番線(バンセン)を使った丸太筋工(土留柵)を2箇所を実施。参加者・インストともに初めての作業で

あったが、立派な出来栄えとなった。皆様はまだ土留柵を作成したいとおしゃり少し物足りない様子であった。余力を持って引き続き経路補修も行った。

- ② 林内整備では、延寿の森内で小枝等を集めてアニマルヘッジ(動物用垣根)作りを行った。
- ③ 吉田宮司をはじめ全員で延寿の森経路沿いにミツマタを植樹した。穴を掘るのに少し苦勞されていたが皆様楽しく、来年再来年の黄色一色になる花の満開時に思いをはせ、作業されていた。その後看板前で記念撮影を行った。

(午後) 森林癒やし体験班と林道周遊班とに分かれて活動した。

- ① 癒やしの森でのハンモック、延寿の森での樹冠の揺らぎ、呼吸法や緑の中のグラデーションなど、五感を使った森林癒やしを体験し、皆様日頃の疲れも取れ、とてもご満喫のようだった。
- ② Bコース周遊では自然観察、やどりき内の生き物達の生態等の説明を行い、参加者には楽しく散策いただいた。

ご高齢の方・お子様もいるなど、リピーター参加者のために、プログラム上も工夫を凝らしたので、主催者・参加者から感謝いただきました。事故・怪我もなく無事に活動を終了いたしました。

(記 源島 道恵 ⑬)

◆ 鎌倉市公園協会

平成27年度緑のレンジャー・シニア活動 第9回

日 12月5日(土) 10:00～15:00、晴れ

場 鎌倉中央公園

参 14名 (男子11名 女子3名)

スタッフ 鎌倉市公園協会 千田様、後藤様

イ L安部⑤、小沢⑨

4月から継続されました平成27年度緑のレンジャー・シニアの9回目となります。

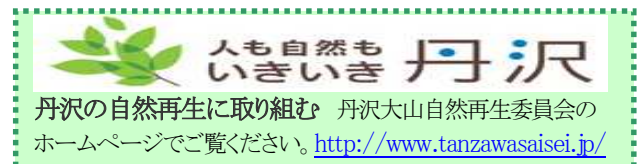
緑の作業(公園管理作業)をするに当り、活動場所内の一般者への作業中の標示を行い、本日の目的である危険木の伐採及び危険枝除去をする木を決定した。

レンジャー・シニアの方が前回の実習で学ばれたロープを使用して危険枝等を除去する為の復習を下見時に決定したコナラヘロープを掛け実習の成果を確認。

枝を落とした後に間伐作業に入り、まず足場の確保、伐

倒方向の決定、受け口、追い口等順次全員で作業に入り、除去した枝や間伐材は所定の場所へ片付け、全員無事に午前中の作業終了。道具の手入れを行い、昼食を取り事務所の2階の講義室に於いて質疑応答(第1回から本日の第9回作業内容について)を行い活発なやり取りが有りました、作業を確認され散会した。

(記 小沢 章男 ⑨)



◆ 富士通株式会社 神奈川支社

(間伐&枝打ち リースづくり)

日 12月5日(土)、晴れ

場 南足柄市塚原

富士通グループ・神奈川はじまりの森
県立21世紀の森

参 社員とその家族 29名(内幼児1名、小学生1名)

スタッフ 富士通株式会社 神奈川支社 瀬戸様

イ L白畑⑦、友谷①、小笠原⑩、福原⑩、真部⑬

予定の時間より早く参加者が到着され、8時30分より開始しました。参加者代表の挨拶後、インストラクターリーダーより作業内容、注意事項等の説明、そしてインストラクター紹介のあと、全員で準備体操を行い間伐(3班)、枝打ち(2班)と各グループにわかれ、各自道具を身につけ活動場所へ移動しました。作業場所ではインストラクターが間伐や枝打ちについての必要を説明して作業に入りました。伐倒後、コースターとして全員玉切りをしました。みなさん思い思いの厚さに伐っていました。ヒヤリハットや怪我もなく、楽しく作業を終了することができました。道具の手入れをして、11時過ぎに「県立21世紀の森」へ移動しました。

到着後、昼食をとりました。午後からは体験教室でリースづくりです。インストラクターリーダーから材料の説明、道具について注意事項の説明がありました。参加者は各自どんなリースを作るかを考えながら材料を手にとっていました。ときどきインストラクターにアドバイスをもらいながら製作に取り組んでいました。完成したリースはみなさんで見せ合ったり、写真を撮ったりしていました。14時30分には、全員怪我もなく、全ての

スケジュールが終了しました。参加者は完成したリースを満足そうに持ち、帰路に着きました。

(記 福原 和美 ⑩)

◆ 川崎市「里山ボランティア育成講座」第6回(最終回)

日 12月12日(土) 9:30~15:00、晴れ

場 川崎市黒川青少年の森緑の保全地区

黒川青少年野外活動センター

参 33名

スタッフ 川崎市公園緑地協会 野牛様他4名、

人材バンクスタッフ2名

イ L.門澤⑫、山崎⑫、溝田⑬

1. 座学「ボランティアの心得」:かわさき市民活動センター理事長小倉敬子様
2. 実技:①シイタケ作り(種駒の打ち込み)、②植樹、薪拾い、③竹の器、箸づくり
参加者が3グループに分かれて、上記①~③の作業を順次ローテーションして体験した。
3. 昼食
火起こし、ブリ縄体験、クラフトなどを自由時間に組み合わせ体験。用意した「チャンチャン焼きアラカルト」を全員で野外炊事、賞味。
4. 座学「特産林産物・原木シイタケとその環境づくり」:
キノコアドバイザー野牛様
5. 閉講式、修了証授与、連絡事項
(ア) 人材バンク登録の案内
(イ) 神奈川県森林インストラクター15期募集の案内
(ウ) 川崎市環境審議会市民委員募集の案内
(エ) ボランティア活動団体のお知らせ
(オ) その他
6. スタッフミーティング、反省会
(ア) 計6回参加者には楽しんでもらえた。
(イ) 人との接し方が学べた。
(ウ) 今年は雨が少なく作業が充実した
(エ) スタッフの集合時刻やミーティング時間などに工夫すべき。

以上

(記 溝田 幸和 ⑬)

◆ 生活協同組合パルシステム 神奈川ゆめコープ 森林散策とクリスマスリース作り

日 12月19日(土)10:45~12:45 晴れ

場 小田原市いこいの森

参 41名(大人18名・子供21名・スタッフ2名)

スタッフ 神奈川ゆめコープ3名

小田原森林組合1名

イ L.白畑⑦、菊地①、真部⑬

穏やかな冬晴れに恵まれたこの日、みんなでクリスマスリース作りを楽しもうと、子供たちを連れたご家族がいこいの森に集まった。

幼い子供も多く、にぎやかで和やかな雰囲気の中、主催者の挨拶が終わるとリースの材料となるつる植物の観察に出発。

森林組合の佐藤さんから、つる植物が森の中で他の植物に絡みついて被害を与えるときには除去が必要な場合があることを、現状を見ながら説明を受けた。

今回は時間が少ないため採取は行わず、事前に準備したつるを使ったが、松ボックリや草木の実のは拾うことができた。散策の後は楽しみにしていたリース作り。大きめにつるを巻いて輪を作り、主催者が用意した色とりどりのオーナメント(飾り、装飾)やリボン、インストラクターのリーダーが持参した多くの種類の天然の木の実を飾りつけた。それぞれ個性的でとても素敵な作品を手にして笑顔いっぱいの写真撮影。

森の恵みで作られたリースとともに、楽しいクリスマスを過ごしてほしいと思った。

(記 真部 幸枝 ⑬)

投稿概略フォーマットと略語の説明

ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者&人数

県 神奈川県 環境農政局 水・緑部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター(○数字:期) 研:研修枠
(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

****リーダーは責任を持って執筆者の選択とフォローをお願いします。**

****活動終了後の速やかな投稿をお願いします。**

やどりき水源林 ミニガイド

2月のトピックス

2月19日(日)に行われる林道でくたくの下見と一緒に訪れた14期生の面々。
(寄大橋にて)



(2/12 撮影 広報 小川⑬)

3月の水源林

春の訪れです。後半にはミツマタの花が見頃となります。

「森の案内人」情報

いよいよ3月5日(土)から案内人が始まります!!

●実施時間:毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時, 1~2時間程度

●集 合:水源林入口ゲート前

●内 容:森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。

参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ:(公財)かながわトラス

みどり財団 TEL:045-412-2255

FAX:045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

●E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

◆ 映画「うみやまあひだ」 ◆

場所:アミューあつぎ映画. comシネマ

電話番号:046-206-4541

日時:3月6日(日曜日)映画 14:00~、

トークショー15:40~

伊勢神宮の式年遷宮を300年以上にわたって支えてきた、木曽地方の森の美しさや神秘さ、木曽地方が培ってきた森と人が共生し、木を巧み活かす文化等を紹介した映画「うみやまあひだ」を通したキャンペーンがスタートしています。

作品紹介:10年にわたって伊勢神宮を撮影続けてきた写真家・宮澤正明が、太古の昔から森や海と共生を続けてきた日本人の心に迫ったドキュメンタリー映画。森から森へと旅を続ける中で出会った賢人の話に耳を傾け、自然と人とを紡いだ記録を、その場にいるような臨場感を味わえる高解像の4K映像で再現。監督:宮澤正明。

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s.akasaki-k.instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kj.d.biglobe.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治(事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

皆さまへお知らせ!!

事務所が移転しました。

—新住所—

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号

サンシャインビル 6階 604号

Tel 046-297-0301 Fax 046-297-0302

E-mail k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

E-mail アドレスは変更ありません。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP担当:井出恒夫)

編集後記

★今家にいる猫を保護した縁で、地域猫ボランティアのお手伝いをしています。

とても大変でスタッフの方の努力に頭が下がります。

(赤崎)

★我が家(横浜市栄区)の周辺で時々地鳴りのような「轟音」が聞こえます。皆様の所ではいかがですか。何かの前触れかなと心配になります。

ネットでも話題になっているようです。

(蘭田)

★インフルエンザからいかに身を守ろうかとその気遣いで疲れ、逆に免疫力が落ちてしまいました

(水口)

★先日、浅草に行ってきました。スカイツリーが完成したのを間近で見るのは、恥ずかしながら初めてでした。五重塔を参考にしているんだと子供達にはよく話していたのに!!(心柱、やじろべー、木の根っこ)

(松本)

◇ 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保

広報部: 水口俊則 赤崎さほり

小川和恵 蘭田栄哉

大塚晴子 小池 哉

支援 伊藤恭造 大原正志

江頭淑子



第十八回 まつだ 桜まつり

期間 2016年 2/13(土)~3/13(日) 場所 松田山ハーブガーデン パートナース TEL. 0465-85-1177

松田山西平畑公園内
松田山ハーブガーデン

松田町役場観光経済課 TEL0465-83-1228

松田山ハーブガーデン TEL0465-85-1177

交通案内 TEL0465-82-0367

(松田観光協会ホームページより)

<https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/18sakura/>